



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月27日

上場会社名 株式会社ヒガシトウエンティワン 上場取引所 東・大  
 コード番号 9029 URL http://www.e-higashi.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)阿知羅 英夫  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員管理本部長 (氏名)中橋 俊和 TEL(06)6945-5611  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,023	3.6	330	5.2	332	7.1	180	24.7
23年3月期第2四半期	8,705	6.4	314	22.5	310	26.3	145	33.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	31.46	—
23年3月期第2四半期	25.22	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,690	4,970	46.5
23年3月期	11,377	4,894	43.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,970百万円 23年3月期 4,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,620	0.7	702	2.8	670	△0.1	338	0.4	58.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	5,750,000株	23年3月期	5,750,000株
24年3月期2Q	76株	23年3月期	76株
24年3月期2Q	5,749,924株	23年3月期2Q	5,749,924株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおりアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
- ・平成23年12月2日(金) 午前10時 鉄鋼会館(東京) 7階 706号室・・・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から徐々に持ち直す兆しが見られるものの、世界的な景気減速の懸念や円高の長期化等から景気の先行きは依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社は新規荷主開拓や既存荷主への深耕開拓に努め、新規赴任引越業務の受託及び輸配送業務の地域拡大に加え、3月に実施予定であった赴任引越業務の一部が東日本大震災の影響を受け、第1四半期累計期間に繰り延べ実施されたことにより、売上高は90億23百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

利益面につきましては、売上総利益は売上の増加及び原価圧縮により16億31百万円(同4.3%増)となり、東京証券取引所市場第二部上場に伴う一般管理費の増加はあったものの、営業利益は3億30百万円(同5.2%増)、経常利益は3億32百万円(同7.1%増)、四半期純利益は1億80百万円(同24.7%増)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### ①運送事業

当事業につきましては、売上高は60億9百万円(前年同期比2.5%増)となり、セグメント利益は4億円(同3.7%減)となりました。これは新規赴任引越業務の受託及び輸配送業務の地域拡大に加え、3月に実施予定であった赴任引越業務の一部が東日本大震災の影響を受け、第1四半期累計期間に繰り延べ実施されたことによるものです。

#### ②倉庫事業

当事業につきましては、売上高は14億35百万円(前年同期比6.6%増)となり、セグメント利益は3億18百万円(同30.4%増)となりました。これは物流センター業務が順調に推移し、保管並びに作業収入が増加したことによるものです。

#### ③商品販売事業

当事業につきましては、売上高は10億22百万円(前年同期比5.9%増)となり、セグメント利益は40百万円(同18.6%増)となりました。これはOAトナーの販売が増加したことによるものです。

#### ④その他

当事業につきましては、売上高は5億55百万円(前年同期比5.0%増)となり、セグメント利益は37百万円(同24.5%増)となりました。これはビジネスサポート事業は減収となったものの、福祉用具レンタル事業及び駐車場事業の売上が増加したことによるものです。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は106億90百万円となり、前事業年度末に比べ6億86百万円減少いたしました。資産の主要科目の増減は、受取手形及び営業未収入金が回収により4億85百万円減少し、現預金が借入金の返済により55百万円減少いたしました。

また、負債は57億20百万円となり、前事業年度末に比べ7億62百万円減少いたしました。負債の主要科目の増減は、借入金が2億63百万円、営業未払金が4億26百万円減少いたしました。

純資産は利益剰余金の増加等により前事業年度末に比べ75百万円増加して49億70百万円となり、自己資本比率は3.5ポイント増加し46.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により得られた資金が3億36百万円あり、投資活動により得られた資金が27百万円、財務活動により使用した資金が3億92百万円となりました。その結果、当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は8億69百万円(前年同期比10.8%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、3億36百万円(前年同期比3.4%増)となりました。これは主に税引前四半期純利益3億34百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、27百万円(前年同期は30百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、3億92百万円(前年同期は58百万円)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出2億63百万円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績は、対前年比で増収・増益で推移しておりますが、通期業績予想につきましては、世界的な景気減速の懸念や円高の長期化等の経済情勢を慎重に勘案し、当初の業績予想から大きく増加するとは考えていないことから、現時点では業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,151,319	1,095,662
受取手形	350,588	376,508
営業未収入金	2,542,439	2,030,863
商品	81,047	68,488
その他	240,331	247,269
貸倒引当金	△28,930	△24,073
流動資産合計	4,336,795	3,794,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,947,366	2,859,516
機械装置及び運搬具(純額)	94,504	104,635
土地	2,797,459	2,797,459
その他(純額)	60,538	63,437
有形固定資産合計	5,899,869	5,825,048
無形固定資産	122,316	115,057
投資その他の資産		
投資有価証券	162,273	102,502
差入保証金	601,987	607,448
その他	343,620	338,277
貸倒引当金	△89,696	△92,399
投資その他の資産合計	1,018,184	955,829
固定資産合計	7,040,370	6,895,935
資産合計	11,377,166	10,690,654
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	51,292	57,279
営業未払金	1,517,277	1,090,791
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,175,740	1,152,120
未払法人税等	193,569	160,891
賞与引当金	182,006	179,003
その他	369,536	475,219
流動負債合計	4,339,422	3,965,306
固定負債		
長期借入金	1,435,130	1,195,670
退職給付引当金	212,136	202,238
役員退職慰労引当金	130,690	130,700
その他	364,869	226,184
固定負債合計	2,142,825	1,754,793
負債合計	6,482,247	5,720,099

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,150	333,150
資本剰余金	95,950	95,950
利益剰余金	4,461,600	4,544,752
自己株式	△42	△42
株主資本合計	4,890,658	4,973,810
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,260	△3,255
評価・換算差額等合計	4,260	△3,255
純資産合計	4,894,918	4,970,555
負債純資産合計	11,377,166	10,690,654



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	8,705,439	9,023,059
売上原価	7,140,952	7,391,901
売上総利益	1,564,486	1,631,157
販売費及び一般管理費	1,250,196	1,300,578
営業利益	314,290	330,578
営業外収益		
受取賃貸料	21,366	21,606
その他	17,531	18,650
営業外収益合計	38,897	40,256
営業外費用		
支払利息	33,460	29,188
賃貸費用	7,372	8,190
その他	1,457	539
営業外費用合計	42,290	37,918
経常利益	310,898	332,916
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,000
特別利益合計	—	6,000
特別損失		
固定資産除却損	47	4,435
投資有価証券評価損	28,589	—
会員権評価損	2,500	100
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,377	—
特別損失合計	33,514	4,535
税引前四半期純利益	277,384	334,380
法人税等	132,370	153,480
四半期純利益	145,013	180,900

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	277,384	334,380
減価償却費	147,535	135,167
売上債権の増減額(△は増加)	413,778	485,655
仕入債務の増減額(△は減少)	△476,922	△421,141
その他	138,702	11,872
小計	500,477	545,934
利息及び配当金の受取額	4,719	4,088
利息の支払額	△32,238	△27,424
法人税等の支払額	△147,026	△185,680
営業活動によるキャッシュ・フロー	325,931	336,918
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△162,000	△162,000
定期預金の払戻による収入	189,000	189,000
有形固定資産の取得による支出	△44,876	△44,607
その他	△12,518	44,868
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,395	27,261
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	360,000	—
長期借入金の返済による支出	△298,800	△263,080
その他	△119,944	△129,756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,744	△392,836
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	236,792	△28,656
現金及び現金同等物の期首残高	548,039	898,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	784,831	869,562

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。